

礼拝はこのようにおこなわれます

前奏

礼拝開始時間になると鐘が鳴り、奏楽が始まります。心を落ち着けて静かに待ちます。

礼拝招詞 (招きの言葉)

司会者が聖書の言葉を読みます。

讃美① (新聖歌より)

礼拝の中で神様をたたえるために歌う歌を讃美といいます。司会者が歌う聖歌の番号を言います。受付でお渡しする週報にも番号が記載されています。番号はページではなく、聖歌のタイトルの横にある番号です。差支えない方はお立ちいただいて歌います。歌が3番までである場合は2番のあとに、4、5、6番までである場合は3番のあとに間奏が入ります。

主の祈り

イエス様が弟子たちに「このように祈りなさい」と教えてくださった祈りです。週報の裏面に記載されておりますので、差支えなかったら一緒に読んでお祈りしてみてください。

讃美② (新聖歌より)

讃美①と同様、聖歌の番号を開き、今度は座ったままで歌います。

交読 (新聖歌より)

新聖歌の後ろの方に記載してある聖書のことばを読みます。司会者が指定したページをお開きください。司会者と交互に読んでいきます。司会者が細かい字の部分を読みますので、太い字の部分をお読みください。

祈祷 (お祈り)

神様にお祈りをささげます。その週の担当である代表者が前に出て祈りますので、黙祷していただければけっこうです。お祈りは最後に「アーメン」と言いますが、これは「そのとおりです」という意味です。お祈りが心からのものであることを表します。

特別讃美

聖歌隊や教会学校の子どもたちなどが歌うことがあります。毎週ではありません。

証し (あかし)

どのようにして神様を信じたか、また神様が自分にしてくださったことの体験談を代表者が皆の前で話します。これを「証し(あかし)」と呼びます。毎週ではありません。

信仰告白 (使徒信条)

信仰告白(使徒信条)とは、信仰の内容がどのようなものであるかを簡単にまとめたものです。差し支えない方は立って唱えます。週報の裏面に記載されておりますので、よろしかったら一緒に読んでみてください。

讃美③ (新聖歌より)

差し支えない方は立ったまま歌います。

聖書朗読

司会者が本日の説教(牧師の話)の内容である箇所(箇所)の聖書を読みます。司会者がページを言いますので、聖書をお開きください。聖書は前半が「旧約聖書」、後半が「新約聖書」に分かれています。聖書の箇所は週報にも記載されておりますが、わからない時はお近くの教会員にお気軽におたずねください。

説教

牧師が朗読した聖書の箇所から、神様からのメッセージを伝えます。説教はメッセージと言われることもあります。初めての方には難しい内容もあるかもしれません。質問がありましたら、お帰りの際、受付に牧師がおりますのでお気軽におたずねください。また、聖書をわかりやすく学ぶ「聖書入門コース」も行なっておりますので、ご希望があれば牧師までお申し出ください。また、お電話でも随時受け付けております。

祈祷

牧師がお祈りをささげますので、黙祷していただければけっこうです。

讃美④ (新聖歌より)

番号を開き、差し支えない方は起立して歌います。

献金

クリスチャンが日頃の神様の恵みに感謝し、収入の中の一部を神様にお返しするという形でささげるものです。決して強制ではありませんのでご用意のない方、またご意思のない方は献金の係が回ってきてそのままにしてください。

感謝祈祷

献金にともない、代表者が神様の恵みに感謝するお祈りをささげます。起立して祈りますので、差し支えない方はお立ちいただき、黙祷してください。

頌栄

新聖歌の60~63番のいずれかを起立して歌います。

祝祷

牧師が祝福のお祈りをささげますので、立ったまま黙祷してください。

後奏

奏楽者が最後に短い演奏をします。立ったまま黙祷してください。

